

第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」リハーサル大会 ボウリング競技実施要領

1 競技規則

令和4(2022)年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本パラスポーツ協会制定)によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 試合の方法は、デュアルレーン(アメリカン)方式で行う。
- (2) 競技は、すべてスクラッチ2ゲームとし、その合計得点により順位を決定する。
※順位決定の際、同点の成績の場合は規定に基づきゲームローハイにて決定する。
- (3) 原則として、ゲームは1ボックス(2レーン)8名までとし、1フレームごとに交代で投球する。
- (4) 投球練習は、競技開始前に競技役員の指示により、各選手が競技を行う2つのレーンで10分間行う。
- (5) 隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側レーンの選手を優先する。
- (6) ファウルについては、自動式ファウル判定機を使用する。
- (7) オートマチックスコアラーの操作及び個人記録カードの記入は、すべて競技役員が行う。
- (8) 競技は、競技日程に基づき実施し、すべて競技役員の指示で行う。

3 服装等

- (1) 服装は、ボウリング競技をするうえで支障のないものを着用する。
- (2) ソックスを必ず履くこと。
- (3) 番号布(ゼッケン)は、主催者が交付したものを胸部及び背部に付ける。

4 招集

- (1) 開始式の開始10分前に、指定されたボックスに招集する。
- (2) 招集完了時刻に遅れた選手は、棄権したものとみなし、競技に出場できない。

5 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

6 その他

- (1) 選手は、競技中ボウラースベンチを離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず競技役員に申し出ること。
- (2) 選手以外にボウラースベンチを除くボウラースエリアへ入ることができる者は、競技役員、競技補助員のほか、各選手団の監督またはコーチ（各選手団、IDカードを付けた1名のみ）とする。各選手団の監督またはコーチが立ち入ることができるエリアは、自チームが競技しているボックスのみとする。
- (3) 競技会場のハウスボール及びハウスシューズを使用しようとする場合は、参加申込書にその旨を記載し、主催者が競技会場において用意する。
 - ア 하우스シューズは、主催者が所定の場所に用意し、選手はボウラースベンチ後方の通路で履き替える。
 - イ 하우스ボールは、主催者が所定の場所に用意し、選手は競技終了後、速やかに元の場所に返却する。
- (4) ボールを拭くタオルは、選手自ら用意すること。
- (5) 競技上不明な点は、競技本部に問い合わせること。
- (6) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。
- (7) 参加者は、主催者が定めた新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドラインを遵守すること。